

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は食に関することを学びたいと考えていました。オープンキャンパスに参加した際に、栄養学・食品学・調理学が「学べる食物科学専攻」に魅力を感じ、同志社女子大学への受験を決めました。

(2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

受験勉強をする時間があまりなかったため、学校の授業・定期テスト・小テストを大事にしていました。英語が「苦手」だったので、電車に乗っている時は必ず「英語や古文の単語帳を見るように」していました。

〔夏休み〕

夏休みから本格的に受験勉強に取り組み始めました。英単語は毎日必ず「見るように」し、英語と生物の基礎固めをしていました。また、問題に慣れるためにこの時期から過去問を解いていました。家では勉強に集中できなかったため、塾で学校で勉強するようにしていました。毎日目標を決めて計画を立てながら勉強していました。

〔2学期～入試直前〕

定期テストや模試で「分からなかった問題」や、自分の苦手な分野を全て教科ごとにノートにまとめ、何回も見直すようにしていました。過去問を解くときは本番と同じ時間で、時間配分を考えながら取り組んでいました。また一度間違えた問題は、もう間違えないように解説を読み込みました。それでも分からなかったら、先生に聞くようにしていました。学校の休み時間は友達と話して息抜きをし、規則正しい生活を心がけていました。

(3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

家に居るとテレビやスマートフォンを見てしまうことが多かったため、家に居る時間を減らしていました。学校や塾で勉強し、家ではリラックスして過ごすようにして、メリハリをつけていました。健康面では、夜更かして勉強しても次の日が「しんどくなるだけ」なので、睡眠はしっかり取るようにしていました。私は学校の行事は積極的に参加して、全力で楽しみました。勉強する時はちゃんとする、しない時はしないというふうにキリよく分けた方が「良い」と思います。

(4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

私は不安でいっぱいになった時は、友達とたくさん話をして息抜きや気分転換をして乗り切りました。受験生は最後の最後まで伸びます。同志社女子大学に通っている自分の姿を想像して、最後まで自分を信じて頑張ってください。応援しています！